

聞いてしまいました。

吉伸さん…私たち二人とも地元じゃないので、身近に相談できる場所があるというのは安心できます。

— 何か困っていることはありませんか。

梓さん…今後のことなのですが、私たちはアパートで暮らしていますので、子どもの泣き声などで、他の入居者に迷惑をかけるんじゃないかと心配です。今はそれなりに注意しているからいいのですが、子どもが生まれたら…。実家の足寄町には子育て支援住宅があり、子育てをしている家族のみが入居できる公営住宅があります。そういうところが白糠町にもあればいいの、と思います。

それから、ベビー用品の不要品などがあれば、それを回収して必要な方が使つて、と。そういうレンタル制度のようなものがあればいいなと思います。

— 住宅事情はありますが「子育ては白糠町で」と考えていますか。

梓さん…お互いの実家も近いですし、子育ての支援も手厚いので、これからは白糠町で暮らしていきたい

たいと思つています。私たち二人とも地元で高校まで通いました。白糠町でも小学校から高校まで地元に通えますので、そういうところもいいなと思います。

— 今後は産後ケアになりますか。

吉伸さん…毎回違う方と話をするよりも、ずっと同じ方（助産師）に支援してもらえるのがいいですね。これまでの経過を知ってくれていますし。

梓さん…もし、急ぎよ生まれそうになったら、助産師さんに電話をして、一緒に救急車に乗ってもらうこともできますか？（笑）

本郷恵さん（助産師）…どうにもならないときはそうですね（笑）。もし『病院まで間に合わない！』となつたら、そういうこともあり得るかもしれません。赤ちゃんを取り上げることはできますので。梓さん…本当ですか？それは安心しました。何かあればお湯を沸かして、バスタオルを用意すればいいんですよ（笑）

## 産後ケアとして

出産退院後、1週間程度で助産師が家庭訪問を行い、乳房トラブル

ルや母乳の相談、母の体調や新生児の体重のことなど、入院中に助産師から受けられていた支援が退院後も継続できるように、早期に訪問しています。

生後3週間程経った頃には、助産師と保健師で家庭訪問を行い、前回の訪問から順調に育児ができているか確認をし、予防接種や今後の健康相談・健康診査の案内をしています。

そのほか、乳房ケアを受けたい方、母乳・ミルクや育児の相談、母親の体調等の相談などを受けています。

■妊娠・出産・子育てに関する相談は、役場介護健康課健康相談係 ☎ 01547・2・2171（内線 592・593）まで。

## 介護健康課の支援策

### ■不妊治療にかかる支援

平成28年度から、不妊治療を受けようとする夫婦の精神的、経済的な負担を軽減するため、保険適用外の不妊治療にかかる費用を全額助成しています。これまで8人の方がご懐妊されています。

### ■出産祝い金の支給

次世代を担う子どもの誕生を祝し、平成29年度から5万円分のシラトピア商品券を贈呈しています。（平成29年度は第1子のみが対象）

【実績】平成30年度／25人、令和元年度／26人

### ■乳幼児用ごみ袋の支給

少子化対策の一環として、平成20年7月から1歳未満の子ども、平成28年度からは2歳未満の子どもに対象範囲を広げ、週1枚合計120枚のおむつ用可燃ごみ袋を支給しています。

【実績】平成30年度／27人、令和元年度／36人